

平成30年度 埼玉県学力・学習状況調査&全国学力・学習状況調査&新体力テスト結果の概要について

「埼玉県学力学習状況調査」

○本調査は、生徒一人一人の学力の伸びや学習に対する意識や生活の様子などがわかるように調査をしています。

<実施日> 平成30年4月12日(木)

<実施教科> 1年生—国語・算数 2年生—国語・数学・英語 3年生—国語・数学・英語

生徒質問紙(学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項)

学年・教科 平均正答率	1年生		2年生			3年生		
	国語	算数	国語	数学	英語	国語	数学	英語
本校	53.1	59.6	56.8	53.7	67.6	59.8	59.3	57.3
狭山市	54.6	59.2	55.7	51.2	66.1	61.2	61.5	59.7
埼玉県	55.2	58.1	55.6	51.0	65.4	61.7	59.1	58.5

*正答率:各問いに正しく答えた割合 (反転数字は、県平均を上回る数値)

<規律ある態度> 「できる・よくできる・だいたいできる」と回答した生徒の割合(%)

内容	1段目:今年度 2段目:昨年度(同一学年の前年数値) 3段目:狭山市 4段目:埼玉県			内容	1段目:今年度 2段目:昨年度(同一学年の前年数値) 3段目:狭山市 4段目:埼玉県					
	中1	中2	中3		中1	中2	中3			
けじめのある生活ができる	時刻を守る	①登校時刻	98.4	97.7	97.5	接する礼儀正しく人と を身に付ける	①ていねいな言葉づかい	91.1	90.5	94.7
		☆十か条4項	*	98.1	96.1		☆十か条7項	*	94.5	93.0
		時間を守る	97.8	98.1	96.1		正しい言葉遣い	91.7	91.6	92.7
			98.1	97.5	97.0		③やさしい言葉づかい	92.6	90.7	91.9
		②授業開始時刻	99.5	98.3	96.7			87.5	88.3	88.0
		☆十か条4項	*	99.5	95.8			*	94.0	85.4
	身の回りの整理 整頓をする	時間を守る	98.4	97.4	96.6	守る約束やきまりを 学習のきまり	⑨学習準備	87.9	85.6	87.6
			98.3	97.5	97.3			89.7	86.5	87.9
		③靴そろえ	91.7	92.2	92.8			94.3	90.5	88.0
			*	93.4	91.5			*	92.9	89.2
			92.2	89.7	92.7			92.3	87.3	85.4
			92.5	91.6	92.5			91.6	88.6	87.7
	④整理整頓	88.0	84.4	89.5		⑩話を聞き発表をする	71.1	79.9	67.0	
	☆十か条6項	*	90.7	88.7		☆十か条2項	*	79.1	69.0	
	整理整頓	85.7	85.3	87.1		人の話をしっかり聞く	70.7	71.5	70.3	
		86.3	85.6	84.5			74.8	70.8	70.8	
	⑤あいさつ	80.2	83.2	79.4			⑪集団の場での態度	96.4	95.5	95.2
	☆十か条1項	*	90.1	71.8			☆十か条10項	*	94.0	94.4
明るいあいさつ	77.1	80.2	81.8	時と場に応じた行動	93.5		93.1	93.7		
	84.0	84.4	84.6		93.9		94.3	94.4		
⑥返事	91.7	93.3	84.7	⑫掃除・美化活動	87.5		93.3	79.9		
☆十か条1項	*	92.9	84.5	☆十か条9項	*		91.8	92.0		
元気な返事	88.2	87.8	88.9	無言清掃	86.7	86.3	84.4			
	89.4	88.3	88.4		85.7	85.2	85.0			

○市・県平均の両方を上回っている項目(反転数字)、下回る項目(斜字)

*表中の☆印は「狭山台中当たり前のこと十か条」との関連項目。

「全国学力・学習状況調査結果」

○本調査の目的は、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。」ものです。

<実施学年・実施日> 第3学年 平成30年4月17日(火) *30年度は、理科も実施

<実施教科等> ・国語A(主に「知識」に関する問題)・国語B(主に「活用」に関する問題)

・数学A(主に「知識」に関する問題)・数学B(主に「活用」に関する問題)

<結果(平均正答率)>

平均正答率	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
狭山台中平均	74	57	62	43	62
狭山市平均	74	58	65	46	63
埼玉県平均	75	61	65	47	65
全国平均	76	61	66	47	66

国語A:概ね市・県と同等の正答率。国語B:「書くこと」「国語の特質」の正答率が低い傾向にある。

数学A:「関数」「図形」、数学B:「数と式」「図形」「関数」「数学的見方考え方」の正答率が低い傾向にある。

理科:「物理的領域」「生物的領域」で若干、「地学的領域」「自然事象についての知識・理解」の正答率が低い傾向にある。

<生活習慣等に関係のある質問(抜粋)>

「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合

生活習慣、自分のこと、学校のこと(抜粋)	台中	狭山市	埼玉県	全国
自分には、よいところがあると思いますか	75.4	76.9	76.0	78.8
将来の夢や目標を持っていますか	73.9	73.5	74.4	72.4
朝食を毎日食べていますか	90.8	92.5	92.6	91.9
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	73.9	77.4	77.5	74.2
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	90.4	90.4	91.2	90.3
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	90.3	94.0	94.3	94.9
今住んでいる地域の行事に参加していますか	29.0	43.4	44.9	45.6
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか	29.5	35.8	40.9	38.7
地域や社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	64.7	72.7	77.2	73.6

生徒質問紙から見える3年生の傾向

○左記の項目は、生活習慣や地域や社会に対する考え方、自分の行動についての質問紙の中から抜粋したものです。県や全国と比べると同等、もしくは低い傾向にあります。しかし、日頃の生徒たちは、行事をとおして他の人のために頑張る姿や色々な場面で地域貢献をしてくれる姿を沢山見せてくれています。

「平成30年度新体力テスト結果」

本校と市平均は本年(30年度)度数値 県平均は昨年(29年度)度数値

※表中の(反転数字)は、昨年度の埼玉県平均をわずかも上回っている種目 男子18/24項目 女子21/24項目

8種目×3学年=24項目	50m走(秒)	立ち幅跳び(cm)	ハンドボール投げ(m)	持久走(分・秒)	反復横跳び(回)	握力(kg)	上体おこし(回)	長座体前屈(cm)	
男子	1年生	8" 45	183.69	17.78	6' 45"	50.29	24.91	26.84	48.87
	狭山市	8" 60	180.46	17.90	6' 53"	49.00	23.63	24.99	43.28
	埼玉県	8" 52	181.44	18.06	6' 48"	49.55	23.91	26.33	42.27
	2年生	7" 66	204.15	21.77	5' 53"	55.90	31.12	31.78	54.41
	狭山市	7" 84	202.05	20.87	6' 06"	53.95	29.32	29.68	48.19
	埼玉県	7" 88	200.13	21.41	6' 14"	53.37	29.61	30.38	47.60
	3年生	7" 50	203.94	22.09	5' 50"	55.00	36.77	32.91	55.21
	狭山市	7" 52	212.50	23.54	5' 57"	55.82	34.64	30.80	51.82
	埼玉県	7" 47	214.28	24.38	6' 01"	56.08	34.74	32.97	51.50
女子	1年生	8" 95	176.15	12.12	4' 45"	47.49	22.01	25.15	50.26
	狭山市	9" 03	172.12	11.41	4' 47"	46.90	22.04	23.13	47.58
	埼玉県	8" 96	168.20	12.06	4' 47"	46.25	22.13	23.85	46.41
	2年生	8" 43	184.77	14.21	4' 21"	50.57	25.98	29.72	55.54
	狭山市	8" 70	180.48	12.86	4' 34"	48.57	24.31	25.69	51.58
	埼玉県	8" 61	175.74	13.93	4' 34"	48.19	24.85	27.21	49.97
	3年生	8" 60	179.75	14.22	4' 35"	49.29	27.97	32.44	56.97
	狭山市	8" 58	180.12	13.98	4' 33"	48.65	25.96	27.12	53.68
	埼玉県	8" 54	177.94	15.00	4' 36"	48.95	26.28	28.49	52.11

学力向上は、家庭学習を毎日コツコツやること。体力向上は、体育授業や部活動に精いっぱい取り組むことが大切です。

平成30年度埼玉県・全国学力学習状況調査の分析と対策

埼玉県学力学習状況調査

		分析結果	対策
国語	1年	○全体的には県や市の平均より下回っている。漢字の読み、敬語の使い方、心情の読み取りは概ね良い結果である。漢字の書きや語彙に関する問題の正答率が低かった。	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙を豊かにする取り組み、そしてその語彙を生活の中でも使えるようにする取り組み。 ・短文づくり、文法の基礎からの復習、漢字ワークの活用、互いの考えを発表させる、話をきちんと聞かせる、授業時の発問の工夫。
	2年	○全体的には昨年度と比較して2ランクアップ。漢字の書きや熟語・敬語、「書く」ことに関する問題の正答率が高かった。一方、昨年度は高かった文学作品の「読み取り」、古文の「読み取り」の正答率が低かった。説明文の「読み取り」は、よくできている。	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字力・語彙力のさらなる向上のため、「語句ノート」づくりの啓蒙。 ・「読み」を重視するため、「朗読、暗唱、要約などの活動の充実。 ・「書く」活動のステップアップのため、「条件・字数制限付き短作文」など。
	3年	○全体的には昨年度と比較すると2ポイントの伸びがみられる。漢字を書くことが苦手である。1年時から「漢字スキル」を使って練習しているが、単純に覚え間違えたり、普段から漢字を使わなかったりするので、漢字に対する関心・意欲が高まらない。敬語や難しい熟語離れが見られ、文章の読解にも影響を与えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・「漢字スキル」活用の継続・筆順や「止め・はね・払い」などにも注意し丁寧に書くように指導する。 ・文章や発言の中に漢字の熟語を持ちいるよう助言し、語彙の充実を図る。 ・1・2年時の文法を復習し、正しい敬語の使い方や文節と文節の関係が理解できているか確認する。
		分析結果	対策
数学	1年	○選択式の問いに比べ、記述式の正答率が低く、また、基本的な計算は県平均を上回っているが数学的な考え方については県平均を下回っている	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な計算力を丁寧に指導する。数学的な考え方や記述する力を伸ばすため、生徒自ら考える機会を多く用意し、経験を積ませていく。
	2年	○「数と式」の領域以外は県平均を上回る。また、観点では知識・理解が大きく上回り、昨年同様、基本的な技能が定着している。	<ul style="list-style-type: none"> ・学年末では、考察を中心に課題活動を多く行い、深い学びが定着出来たので、さらに小テストなどで基本計算の正答率を上げていく。
	3年	○基本的な計算問題は確実に解けるようになってはいるが、「関数」の領域が県平均を下回った。	<ul style="list-style-type: none"> ・変化の割合や動点の問題など、応用系の問題に対しての解く力が不足しているので、それに関わる問題に多く触れ、経験を積ませていく。
		分析結果	対策
英語	2年	<p>正答率分析</p> <p>①<聞くこと>76.4%で県平均より3.5%高い。</p> <p>②<読むこと>63/3%で県平均より1%高いが、以下の項目について低かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な語彙や文法・語法についての知識を身に付けている。(適語補充) ・英語の文章を読んで、過去にしたことをたずねる英語の質問に対する答えを選ぶ。 <p>③<書くこと>67%で県平均より5.2%高い。</p>	<p>正答率が低かったものについて</p> <p>②<読むこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文法・語法の力をつけるために問題演習などを多く取り入れる。 ・語彙力と読解力をつけるために、多読に取り組んでみたい。 <p>※適語補充の問題がよくできていないので、ウィークエンド朝学習や定期テストで慣れていけるようにする。</p>
	3年	○リスニング力は比較的高く、また、与えられたテーマに基づき英語で適切な理由を書く等の作文力は、県平均を上回っている。一方、語彙や文法的な部分や、語順、語法の習得に課題を抱えている生徒が多く、品詞を理解しつつ、語彙力をつけ、それを英文の中でどのような語順で文が成り立っているのか等の力が、必要である。また、生徒質問紙の結果から、アクティブラーニングを取り入れた授業が足りないことも浮き彫りとなった。	<ul style="list-style-type: none"> ・英文をたくさん読ませていく中で、英語の構成の基本である主語・動詞を意識させ、その中で、そのあとに続く語順(目的語や補語等)の形を理解し身につけさせることが必要である。また、そこで身につけた語彙や語法を、実際に英作文を書く中で意識させ、習得させる。その指導の積み重ねを継続し、生徒たちの英語力を向上させていく。また、生徒たちが自らの持てる力を駆使しながらさらに英語力を高めて行けるよう、『主体的で対話的な深い学び』を取り入れた授業実践を行っていく。

第3年 全国学力学習状況調査

		分析結果	対策
国語	A	○全体的には県の平均をわずかながら下回っている。中でも「適切な語句を選択する」「目的に応じた分の成分の順序や構成を考えて文を書く」問題の正答率が低かった。一方、漢字の読みや古文の「仮名遣い」を直す問題はよくできている。	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙の向上を図る取り組み、また、その語彙を文章や発言の中で応用できる実践力を身に付けさせる。 ・1、2年生の文法の復習 ・漢字ワークの活用 ・意味調べの習慣化 ・音読から朗読へのステップアップ ・話し合い活動の充実 ・課題作文の基本的な書き方の習得
	B	○全体的に県平均を下回っている。特に記述式の問題に弱く、相手に的確に伝わるようにあらすじを捉えて書くことが苦手である。また、文章の内容に合った言葉を選択する問題の正答率も低い。やはり、各々の持つ語彙の少なさに起因すると思われる。	<ul style="list-style-type: none"> ・単語ではなく、理由を述べたり相手にわかりやすく整理して答えたりしなければならないような発問をする。 ・音読の際、スラスラ読めるように漢字の読みや言葉の意味の確認を徹底する。 ・様々な言葉に触れられるよう、「国語便覧」や教科書の資料ページを活用する。 ・スピーチを定期的に取り入れる。
		分析結果	対策
数学	A	○全体的に課題があり、特に「図形」「関数」の領域が大きく下回っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導により、個に応じた丁寧な指導を行い、学習過程を振り返って確認する時間をできるだけつくる。
	B	○考えさせる問題に対しての抵抗が強く、無回答率も平均よりも高い。	<ul style="list-style-type: none"> ・記述式の問題にできるだけ多く触れ、経験を積む。
		分析結果	対策
理科		○「地学的領域」、そして「自然事象についての知識・理解」において低い傾向にある。	<ul style="list-style-type: none"> ・「地学的領域」については、3学期に復習を行う。 ・「自然事象についての知識・理解」の向上のため、重要事項についての小テストを行う。

学力調査の結果を踏まえ、学力向上に向けた日々の授業改善、学習指導の充実に努めてまいります。